

轢き逃げ 最高の最悪な日 (2019)

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ ミステリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 127分

初公開日 2019/05/10

公開情報 東映

映倫 G

【キャッチコピー】

なぜ、AIする娘は
死んだのですか？

【解説】

「TAP THE LAST SHOW」で監督デビューを飾った水谷豊が、今度は脚本も自ら手がけて撮り上げた長編第2作。一つの轢き逃げ事件を巡り、現場から逃走してしまった加害者の葛藤と恐怖、突然最愛の娘を奪われた被害者家族の悲しみと怒りを、二転三転する真相の行方とともに描き出す。主演は「アノソラノアオ」の中山麻聖、共演に石田法嗣、小林涼子、檀ふみ、岸部一徳。また水谷豊自身も被害者の父親役で出演。

大手ゼネコンに勤める若きエリート・宗方秀一は、白河早苗との結婚식을3日後に控え、その打ち合わせへと車で向かっていた。式の司会を務める親友で同僚の森田輝が助手席に座る中、急ぐあまり不慣れな抜け道で若い女性をはねてしまう。しかし周囲に誰もいなかったことから、秀一と輝はその場を立ち去り、そのまま打ち合わせへと向かってしまう。警察の捜査に怯えながらも、結婚式の準備を進めていく秀一だったが…。一方、突然の轢き逃げ事件で一人娘を失い、悲しみに暮れる時山光央と妻の千鶴子。ある日、遺品の返却に訪れた2人組の刑事、柳公三郎と前田俊から“娘さんの携帯電話が見あたらない”との報告を受けるのだったが…。

【クレジット】

監督	水谷豊
チーフプロデューサー	島川博篤
製作	亀山慶二
	水谷晴夫
	村松秀信
	木下直哉
	間宮登良松
	山田裕之
製作総指揮	早河洋
エグゼクティブプロデューサー	西新
	長井富夫
	須藤泰司
C o . エグゼクティブプロデューサー	佐々木基
プロデューサー	遠藤英明
	菊池淳夫
	西平敦郎

アソシエイトプロデューサー
ラインプロデューサー
脚本
撮影監督
美術
編集
音響効果
音楽
テーマソング
照明
録音
装飾
スタイリスト
制作担当

助監督
D Iカラリスト
出演

青柳貴之
今村勝範
水谷豊
会田正裕
近藤成之
只野信也
西村洋一
佐藤準
手寫葵
松村泰裕
舩森強
前田亮
高橋正史
榊田茂樹
鳥越道昭
井川浩哉
佐竹宗一
中山麻聖
石田法嗣
小林涼子
毎熊克哉
水谷豊
檀心み
岸部一徳
黄川田将也
堀田眞三
原康義
西沢仁太
山中崇史
HIDEBOH
宗方秀一
森田輝
白河早苗
前田俊
時山光央
時山千鶴子
柳公三郎

『こころをこめて』